

# タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 第4回地域づくり専門部会

舞鶴遊水地現地関連WG及びPR・普及啓発WGにおける令和元年度の取組状況を報告するとともに、令和2年度以降の検討・取組について議論しました。

- ◆開催日時: 令和2年2月21日(金) 19:00~20:30
- ◆開催場所: 長沼町役場 3階 第1・2会議室
- ◆出席人数: 委員4名、事務局9名、傍聴2名



## 【概要】

### 令和元年度の取組状況について

- 舞鶴遊水地に観察小屋を継続設置し、環境教育、普及啓発イベント等で活用。
- 昨年度に引き続き、町内の小学校・高校での出前授業を行ったほか、鶴居村との連携による「長沼町×鶴居村 タンチョウ子ども交流ツアー」を開催。
- 先進地視察として、兵庫県豊岡市を訪れ、コウノトリと共生するまちづくりを視察。
- タンチョウも住めるまちづくりの取組報告及び意見交換の場として「タンチョウと“わたし”活動報告会」を開催。タンチョウ関連商品を販売する事業者や先進地視察の報告等を実施。
- タンチョウ関連商品として、町内で日本酒、パン、ケーキなどが新たに販売。
- SNS、広報誌・雑誌、イベント等を通じた情報発信を行った。

### 令和2年度以降の取組について

- 今年度の取組の継続及び、新たにグリーンツーリズムとの連携等を検討・実施。

### その他

- 現在、舞鶴遊水地は、越流堤含め堤防上を自由に通行できるようになっているが、来年度の5遊水地の供用開始に際して、越流堤の上下流に進入防止ゲートが設置される予定。



[fb.me/NaganumaTancho](https://fb.me/NaganumaTancho)

## 【委員からの意見】

- タンチョウをシンボルとした農業に取り組むために、農業でのタンチョウへの配慮について、整理してもらいたい。その際、環境については学識者、農業については農業改良普及センター等の専門家を交えて検討してほしい。
- 取組を持続・拡大させるために、グッズ販売や寄附を募るなどで資金基盤を確立することも検討した方がよい。
- 取組に関わる人が集まる拠点となるスペースがあると良い。今年度で閉校する長沼舞鶴小学校は好適ではないか。その利活用について検討してほしい。

## 【総括(小磯座長)】

- タンチョウの情報の出し方については、報道機関等とも連携しつつ、検討を続ける必要がある。
- 予算確保についても考える必要がある。要件が緩和された企業版ふるさと納税の制度などの活用を検討が求められる。



- 農業は、本部会の当初から掲げている目標の一つである。障壁はあるが、避けるのではなく前向きに取り組みたい。